

より開かれた議会を目指して

第9回議会報告会

田川高校の生徒との意見交換会を開催しました。

田川高校生
×
塩尻市議会

今年度の議会報告会は市内の高校3校に向いて意見交換会を行うこととし、学校側と調整を重ねました。

初回は7月21日に田川高校に向いて開催しました。近年、高校には市や地域の行事でのボランティアをお願いしています。その体験の感想を皮切りに「住みやすいまちづくり」「18歳選挙権」のテーマで4グループに分かれてのワークシヨップを行いました。生徒の皆さんからは「他県に進学して地元に戻ってくるためには、働く場の確保が重要だ」などの意見が活発に出されました。また、「議会を身近に感じた」「選挙にちゃんと行こうと思った」などの感想が出されました。学校側からも冒頭、「主権者教育を学校としても行っているが、議会が向いてきてくれて、直接話ができるのは有難い」との挨拶をいただきました。

議会としては、普段高校生と

の接点がほとんど無いので、若い人の意見を聞く良い機会ととらえ、気楽に思ふことを語ってもらえるように雰囲気づくりにも気を配りました。18歳選挙権ということで取り組みも始まったばかりですが、何を知らなくて何を知らないのかもわかりました。今後、出された意見は議会の中でも取り上げていきたいと思えます。



意見交換会での様子

高校生の意見 ※一部を掲載

○テーマ1

『田川高校での活動を通して感じたこと』
・市のイベントに参加して、大変さや、人の優しさが分かった。
・地域行事参加して、若年層の参加率が低く、もっと広報活動が必要と感じた。

○テーマ2

『住みたい街とは』
・若者が楽しめる場所がほしい。
・地域に大学や専門学校が少ない。

○テーマ3

『18歳選挙権と政治参加』
・自分の意思表示のために行くべき。
・若者の意見が政治に届くようになって、本当にいいものかどうか不安。

高校生の感想

・市議会議員の方と話す機会がないので、いい機会となった。
・自分たちの意見を直接伝えられて、うれしかった。必ず選挙に行きたい。

今後、どんなテーマで意見交換したいか

・選挙の必要性や、選挙に興味を持てるような話し合い。
・若者が地元に戻ってくるためには、どんなことが必要か。
・どうしたら若者が政治参加をするようになるか。

今年度の開催日程

10月30日(月)
東京都市大学塩尻高校
(実施済)
11月16日(木)
塩尻志学館高校
※12月定例会号に記載予定

市議会は、議会活動を知ってもらうことなどを目的に平成23年から毎年、議会報告会を開催し、市民と意見交換を行っています。